

新潟県医療ソーシャルワーカー協会 公開講座のお知らせ

(平成 29 年度 新潟県医療社会事業担当者研修会)

1. 目的 医療福祉は医療・保健機関等において、社会福祉の立場から疾病の治療や予防、社会復帰の促進を図るため、患者やその家族の経済的、社会的ならびに精神的諸問題を解決し、援助することを基本的な使命としている。新潟県内の医療福祉関係者の資質向上と医療福祉の発展のために研修会を実施する。
2. 主催 新潟県医療ソーシャルワーカー協会
3. 後援予定 新潟県 新潟県医師会 新潟県病院協会 新潟県社会福祉協議会
新潟県社会福祉士会 新潟県介護支援専門員協会
4. 日時 平成30年2月10日(土) 13:30~17:00
5. 会場 新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
〒950-0994 新潟県新潟市中央区上所2丁目2番2号 TEL025-281-5511

6. プログラム

テーマ 「就労支援について学ぼう・語ろう」

13:15 受付開始

13:30 開会 挨拶

第一部

13:45~15:15

① 講演 「地域の絆からの地域福祉実践と就労支援」

講師：勝部 麗子氏

(豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長 コミュニティーソーシャルワーカー)

第二部

15:30~17:00

② シンポジウム 「地域における相談から就労支援について」

シンポジスト

- ・木川 幸一氏 (北海道医療ソーシャルワーカー協会会長)
- ・鈴木 真 氏 (桑名病院 MSW)
- ・両立支援チームより
- ・就労支援にかかわる方で調整中

コメンテーター

- ・勝部 麗子氏

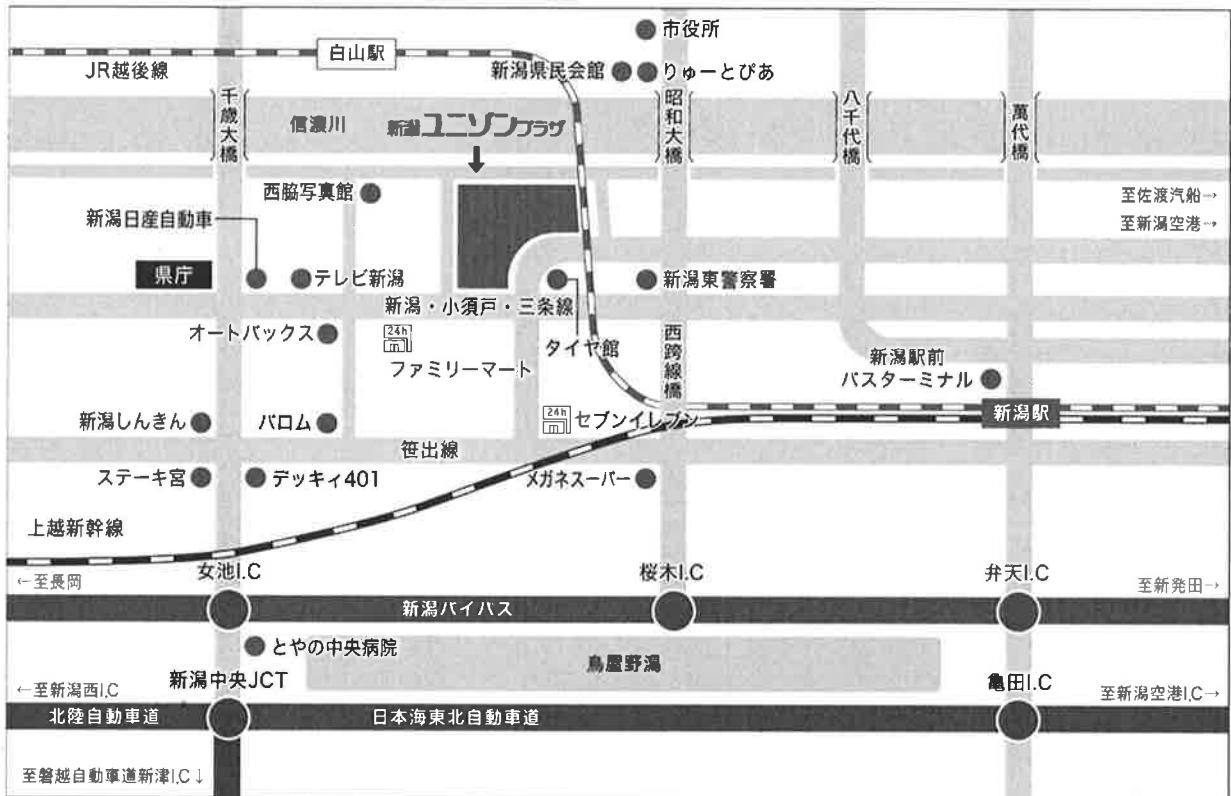
コーディネーター

- ・坂詰 明広氏 (新潟県医療ソーシャルワーカー協会会長)

17:00 閉会 挨拶 新潟県医療ソーシャルワーカー協会副会長

7. 参加費 協会員 無料、 会員外 1,000 円 (当日徴収いたします)
8. 定員 130名
9. 対象者 医療・保健・社会福祉関係者等 定員になり次第締め切ります。
10. アクセスマップ 新潟ユニゾンプラザ 〒950-0994 新潟市中央区上所2丁目2番2号

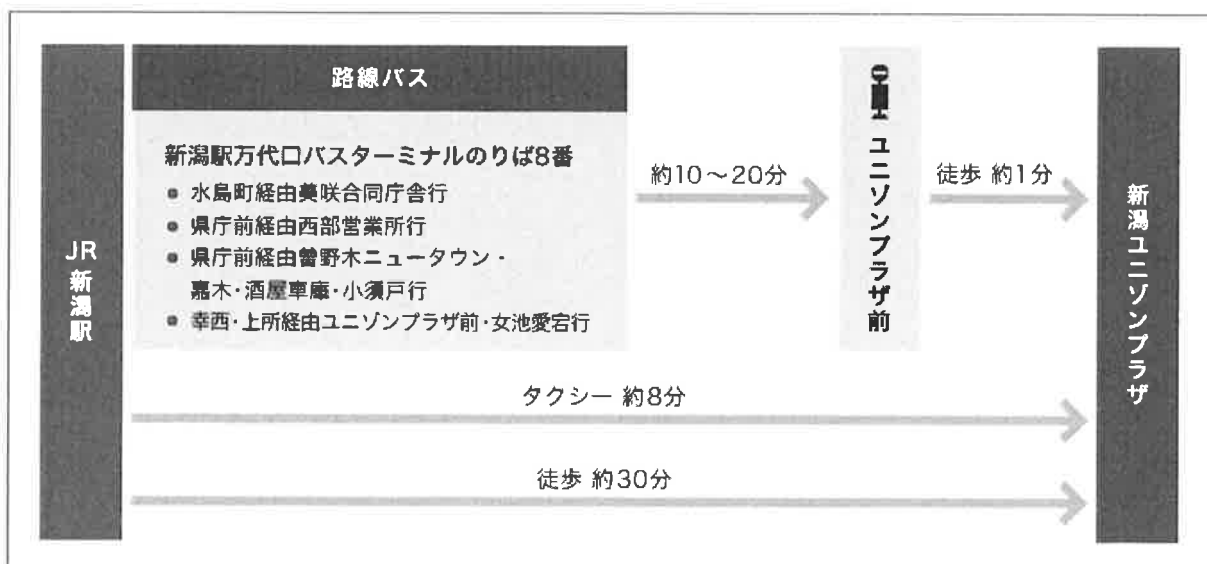
※自家用車でお越しの場合



駐車場について

信濃川右岸道路の交通量が多く、駐車場出入口付近及び周辺道路で交通渋滞が多発しておりますので、以下のルートで入庫願います。なお、混み合って満車となり入場をお断りする場合がございますので、予めご了承ください。ご来館のお客さまには、何卒ご理解ご協力くださいますようお願い申し上げます。

※JR 新潟駅からお越しの場合



お申し込み・お問い合わせ先

〒959-2652 胎内市協和町837番地1

クラレテクノ(株) ちゅーりっぷ苑 新野(にいの)まで

TEL 0254-20-8490 FAX 0254-20-8493

※平成30年1月26日(金)までに、下記の申込書により郵送またはFAXにてお申し込みください。定員になり次第締め切ります。受講票等はお送りいたしません。定員を超えてお断りする場合のみご連絡いたします。

新潟県医療ソーシャルワーカー協会 公開講座(2月10日) 参加申込書
(平成29年度新潟県医療社会事業担当者研修会)

新潟県医療ソーシャルワーカー協会 新野行 FAX: 0254-20-8493

所属機関 _____

TEL _____

住所 _____

FAX _____

職名	職種	氏名	備考
			会員 ・ 会員外
			会員 ・ 会員外
			会員 ・ 会員外

※ 記入いただいた情報は、本研修実施のための事務のみ使用します。

また、参加者職種等の把握のため、講師への参加者名簿を提示することについて予めご承知おきください。それ以外の目的でご提供いただく個人情報を利用いたしません。

※申し込み締め切り 平成30年1月27日(金)



勝部麗子氏 紹介



ゴミ屋敷、ひきこもり、ホームレス、そして孤独死…。社会の中の“声なき声”を「地域の課題」として捉え、住民とともに解決に取り組むのが、コミュニティ・ソーシャルワーカー(CSW)と呼ばれる地域福祉のプロフェッショナルだ。

阪神・淡路大震災で豊中が大阪最大の被災地となって以降、勝部は住民の力を生かした先駆的な取り組みを次々と推進し、今も全国から視察が絶えない。

その第一人者が、大阪・豊中市社会福祉協議会の勝部麗子。

その仕事は、介護保険や生活保護など既存の制度では救いきれない「制度の狭間」に陥った、みずからはSOSを出せない人々を救うこと。例えば、「ゴミ屋敷」の住民。勝部は、訪問を避ける住民のドアに、まずメッセージを書いた名刺を残しておく。相手に対して常に気にかけているサインを発信する。そして、なんとか会話にこぎ着けると、次は近所の住民の協力を得てゴミを片づけ、孤独から救い出して行く。「主人公は地域住民」。支えあう関係を広げ、行政の協力も得て地域の課題を地域で解決する仕組みを作り上げていく。仲間とともに現場でもがく、地域福祉のプロフェッショナルの姿を描く。

プロフェッショナル 仕事の流儀 HPより